

とよおかし 議会だより

豊岡ブラスフェスタ 2018

TOYOOKA BRASS FESTA

【主催・共催】豊岡ブラスフェスタ実行委員会・豊岡市



第 68 号

平成30年11月発行



心をひとつに 奏でるハートユニ

(豊岡北中学校吹奏楽部)

むくじ

9月定例会の報告	2～5
一般質問21人 ほか	6～17
意見書・請願・陳情、12月定例会のお知らせ	18
6月定例会の委員会意見と当局回答、視察報告	19
まちのSmile&Genki、編集後記ほか	20

編集 議会広報広聴特別委員会 発行 豊岡市議会
〒668-8666 豊岡市中央町2-4 TEL 0796-23-1119 FAX 0796-24-8041
URL <http://www.city.toyooka.lg.jp> E-mail gikai@city.toyooka.lg.jp

専門職大学誘致(用地取得)補正予算など 39件を慎重審議

9月定例会を、8月31日から9月28日まで29日間の会期で開催しました。

定例会では、市長から専決処分、放棄した債権、財政健全化比率および資金不足比率など報告案件6件、契約など事件決議7件、条例4件、補正予算10件、一般会計等決算認定議案12件が提案されました。決算認定議案以外の主な議案の審議の結果を報告します。

賛否が分かれた議案

豊岡市農業共済条例の制定

国の農業災害補償法が農業保険法に改正されたことに伴い、条例の全部を改正するもの

死廃共済と疾病共済に分離されることで、双方に加入すると掛け金の増となり経営を圧迫する。
(会派・共産党あおぞら議員)

反対意見

①国の農業災害補償法が農業保険法と改正されたことによる条例改正だが、水稲・麦は当然加入が任意加入となり、加入促進業務が拡大する。②無事戻し制度が廃止され、掛け捨ての共済となる。③収入保険制度の導入で、選択肢が増えたが、青色申告者だけでなく、2種兼業農家は選択肢の外となり、自給率の向上とはならない。④家畜共済は、

賛成意見

農業者の減少、高齢化共済ニーズの多様化などの変化を踏まえ、サービスの向上と負担軽減を図るもの、さらに無事戻し制度は廃止されるが、共済支払いがなければ掛け金が下がるため負担軽減となる。無保険者を生まないための加入促進を図る。
(会派・新風とよおか議員)

一般会計補正予算(第5号)

大阪北部地震のブロッ

ク塀倒壊による死亡事件を受けての小・中学校、幼稚園などのブロック塀の調査、今夏の猛暑による児童死亡事件を教訓とする学校等への空調設備の設置、専門職大学用地買収費など総額11億8612万円の追加(増額)補正

反対意見

地方創生の観点からは、歓迎すべき専門職大学誘致だ。用地として旧さとう跡地を買収する予算を含む補正予算であるが、用地買収は、あまりにも

賛成意見

但馬で初の大学誘致であり、県の計画を円滑に進めるために、市として一定の役割として用地を市が確保することは当然である。経済効果も期待できる。
(会派・新風とよおか議員)

可決した主な議案

豊岡市火災予防条例の一部改正

防火対象物の消防用設備等の状況が、消防法に基づく命令または条例の規定に違反する場合は、当該防火対象物を公表できるようにするもの

一般会計補正予算(第6号)

公共土木災害復旧事業、大阪北部地震による

工事請負契約の締結

防災行政無線のデジタル化整備工事を、日本電通株式会社と約12億円で契約するもの。2021



多くの傍聴があった9月定例会

年2月までに全世帯にデジタル無線の戸別受信機が配布される。

損害賠償の額を定めるもの

※専決処分したもの承認
一般会計補正 (第2号)
 大阪北部地震の教訓から、小学校・幼稚園等の

損害賠償の額を定めるもの承認

相手側の損害額が50万円を超える交通事故2件の示談成立により議決したものの

ブロック塀を撤去するもの。総額1286万円追加

一般会計補正 (第3号)

7月豪雨による道路・水路・農地などの災害復旧事業を行うもの。総額2億1343万円追加

一般会計補正 (第4号)

猛暑対策として、すべての小学校・幼稚園・こども園にエアコン等を設置するもの。30年度・31

年度の2か年で全教室に設置する計画の30年度設置分 総額7362万円追加

放棄した債権の報告 (一般会計・水道)

住宅使用料、水道料金等が回収不能と判断した債権を放棄するもの

損害賠償の額を定めるもの報告

相手側損害額50万円以下の4件の交通事故について、示談成立により損害賠償額を定めるもの

付議された意見

交通事故にかかる損害賠償の額を決める議案

総務委員会・文教民生委員会・建設経済委員会から、次の意見が付議されました。

意見および要望

職員の公用車の運転については、かねてより議会からも安全指導の徹底を要請しているところである。常に危機管理意識

業務委託契約・物品購入契約の2件について

総務委員会から情報通信ネットワーク装置および事務用パソコンの更新にかかる入札では、多くの辞退者が発生している。入札辞退の自由は尊重さ

を持ったうえで、慎重に運転するよう改めて徹底し、再発防止に最大限の努力をされたい。



※専決処分とは 議会開催を待たず市長が歳出などを決める必要があると判断する行為、議会には「報告し、承認」を求める。

意見が分かれた議案の賛否一覧表

本会議での賛否を公開します。掲載のない議案は全会一致で可決されました。賛成は○、反対は×。棄権、除斥等は「-」。議長は採決に加わらないので「/」で表示しています。

会派名	新風とよおか							とよおか市民クラブ					ひかり		日本共産党・あおぞら豊岡市会議員団		豊岡市議会公明党		豊岡維新会		審議結果			
	浅田徹	上田倫久	岡本昭治	関貫久仁郎	木谷敏勝	清水寛	田中藤一郎	土生田仁志	井垣文博	伊藤仁	井上正治	嶋崎宏之	榎野仁司	福田嗣久	松井正志	青山憲司	足田仁司	西田真	上田伴子	奥村忠俊		村岡峰男	芦田竹彦	竹中理
第73号議案 豊岡市農業共済条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
第75号議案 平成30年度豊岡市一般会計補正予算 (第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
第84号議案 平成29年度豊岡市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
意見書案第6号 日本政府に核兵器禁止条約の署名と批准を求める意見書の提出について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	
議報第6号 陳情第2号 出石文化会館ひぼこホール使用に関する陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○

おわびします 平成30年8月発行「とよおかし議会だより 第67号」に誤りがありました。おわびして訂正します。

訂正箇所

- 誤 2頁：下段「意見が分かれた議案の賛否一覧表」中、色枠箇所、文字の欠落
- 正 右図、色枠のとおり

意見が分かれた議案の賛否一覧表

本会議での賛否を公開します。掲載のない議案は全会一致で可決されました。賛成は○、反対は×。棄権、除斥等は「-」。議長は採決に加わらないので「/」で表示しています。

会派名	新風とよおか							とよおか市民クラブ					ひかり		日本共産党・あおぞら豊岡市会議員団		豊岡市議会公明党		豊岡維新会		審議結果			
	浅田徹	上田倫久	岡本昭治	関貫久仁郎	木谷敏勝	清水寛	田中藤一郎	土生田仁志	井垣文博	伊藤仁	井上正治	嶋崎宏之	榎野仁司	福田嗣久	松井正志	青山憲司	足田仁司	西田真	上田伴子	奥村忠俊		村岡峰男	芦田竹彦	竹中理
第64号議案 平成30年度豊岡市一般会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○

全会一致や賛成多数により認定

進補助金、子ども医療費に関して反対討論

議での反対討論および賛成討論(要旨)

9月定例会では、平成29年度12会計の決算が提出されました。一般会計決算については、議長を除く全議員で構成する予算決算委員会にて審査し、9月28日の本会議に審査結果を報告しました。報告の後、認定に反対・賛成討論があり、採決の結果、賛成多数で認定しました。



起立採決の様子

反対意見

市民の暮らしを無視した超過課税はやめるべき

固定資産に都市計画税を課している都市は多くあるが、市民税に超過課税を求めているのは全国でもまれ。超過課税が創設されてから10年、市民税や固定資産税に超過課税があることを忘れて、知らない市民が増加していることをいいことに、市民の暮らしの困難を無視するような課税はやめるべきである。
(会派・共産党あおぞら議員)

賛成意見

必要不可欠な自主財源 広く負担をかち合う

将来的に健全な財政運営が見通せない状況の中で、市民福祉や社会基盤整備に資する財源として必要不可欠なもの。旧町にとつては新たな負担となつているが、市民全体で広く、薄く、負担を分かち合うとの理解で必要性を認めてきた経過もある。現段階では超過課税の廃止に同意できない。
(会派・豊岡市議会公明党議員)

反対意見

多くの市民は利用しない空港補助金の見直しを

多くの補助金の見直しが行われても、但馬空港利用促進補助金の引き下げのための見直しは一度もなかった。開港から23年が経過したが、一度も利用したことがない市民が70%というアンケート結果もある。戦略的な判断であっても、一部の市民のための補助金に変わりがなく、見直しの検討を求める。
(会派・共産党あおぞら議員)

賛成意見

但馬の発展に大きく貢献 地元自治体の支援が必要

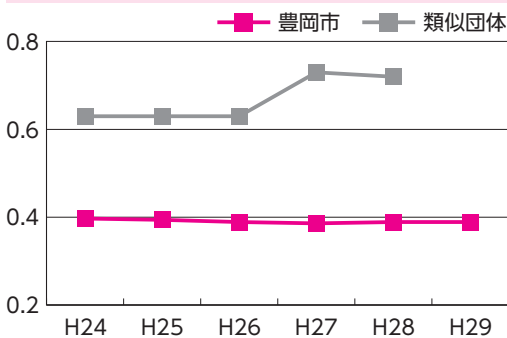
25年度に比べ29年度の空港利用実績が大きく伸びている一方で、補助金件数や額はほぼ横ばいである。補助金対象外の観光客などの増加の影響と見られるが、長年利用促進に努めてきた証左と考えられる。但馬地域の発展に大きく貢献しており、東京直行便の実現に向けて、さらに利用促進をはかる必要がある。
(会派・ひかり議員)

反対意見

子ども医療費の無料化を 市民の強い要望に応えよ

県下41自治体のうち、乳児医療費が有料なのは豊岡市のみ。市政運営の評価もあるが、市長は医療費無料化を求める議員

財政力指数(3年平均)の推移



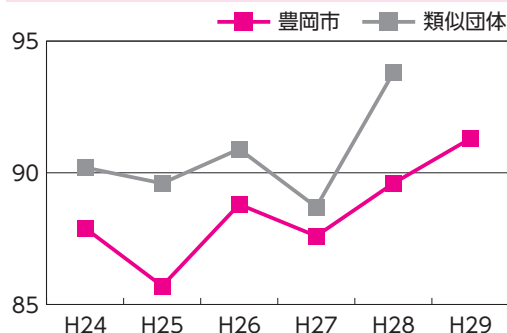
財政力指数

豊岡市は0.389

自治体の財政基盤の強弱を示す指標で、高いほど好ましい。

人口規模や産業構造等が同じような自治体である類似団体は0.72(28年度)。それに比べると標準的なサービスをするためのお金(自主財源)の調達能力が低いと言える。

経常収支比率の推移



経常収支比率

豊岡市は91.3%

自治体の財政構造の弾力性を示す指標で、低いほど好ましい。

類似団体は93.8%(28年度)で、それに比べるとやや低い。しかし、市税などの経常的な収入を人件費・扶助費・公債費等の義務的経費に多く充てており、自由に使えるお金が少ない。

決算の概況(一般会計)

(単位:100万円)

区分	27年度	28年度	29年度
歳入総額	51,502	50,047	55,919
歳出総額	50,441	48,763	54,874
歳入歳出差引額	1,061	1,284	1,045
繰越額	227	371	224
実質収支※1	834	913	821
単年度収支※2	88	79	△92
積立金	1,521	1,897	506
積立金取崩額	483	366	6,977
実質単年度収支※3	1,126	1,610	△6,563

※1 実質収支とは…歳入歳出差引額から翌年度に繰り越す財源を差引いたもので、実質的な決算額。市財政の黒字(赤字)の判断指標

※2 単年度収支とは…当該年度実質収支-前年度実質収支

※3 実質単年度収支とは…単年度収支に実質的な黒字要素(積立金)および赤字要素(積立金取崩)を除いた実質的な単年度収支を示す指標

平成29年度各会計決算を審議

一般会計決算では 超過課税や空港利用促

予算決算委員会から出された意見および要望(要旨)

**経営悪化の市施設
指定管理者と連携を**
公の施設について、民間事業者等が持つノウハウを活用し、多様化する市民サービスの質の向上を図るとともに、施設の

**構成市の自覚のもと
豊岡病院の支援を**
危機的な経営状況にある公立豊岡病院組合の構成市としての自覚が必要である。豊岡の医療、ひいては但馬の医療を守るために、医師確保をはじめ経営努力を促すとともに、病院組合だけに任せることなく、できる限りの支援をし、積極的に関与されたい。

**アイティ都市開発
貸付金弁済の報告を**
アイティ豊岡都市開発株式会社への貸付金7億円が報告された。当該債権は、会社が金融機関4者へ弁済した後に、市に返還される通称「劣後債」と呼ばれる債権で、いまだ当市への返済のめどが立っていない。議会

**アイティ都市開発
有害獣対策の強化
但馬で最終処分を**
有害獣対策のさらなる強化を図ると同時に、最終処分に至っても但馬全体としての取り組みを検討されたい。

豊岡病院組合への支援、公の施設の経営改善、 アイティ豊岡都市開発への貸付金、有害獣対策など

の意見に一向に耳を傾けようとしない。若い世代、子を持つ親たちの応援をしてこそ、真正面から少子化に向き合う戦略的な政策展開である。市民の強い要望に応える市政運営を求めらる。

賛成意見
医療保険制度は相互扶助無料化の効果が疑問
医療保険はお金を出し合って支える相互扶助制度。財政状況の厳しい市では他の事業への影響も想定される。医療費無料化が少子化対策や若者の

移住・定住促進だとしてもその効果は疑問であり子育て支援は総合的に行うべき。多くの市民要望があるので、引き続き検討するとともに国県へ制度改正を要望するよう求める。



一般会計決算額を“家計”に置き換えると

一般会計歳入決算額559億1,866万円を年間360万円の家計に置き換え、1か月30万円の収支に当てはめてみました。

収入	28年度	29年度
給料	18万円(60.1%)	16万円(53.2%)
うち基本給(市税)	6万1千円	5万5千円
うち諸手当、期末手当(地方交付税など)	11万9千円	10万5千円
パート収入(使用料及び手数料)	5千円(1.7%)	4千円(1.4%)
親からの仕送り(地方譲与税、国県支出金など)	4万7千円(15.7%)	4万4千円(14.7%)
事業収入(分担金及び負担金、諸収入など)	2万7千円(9.0%)	2万2千円(7.5%)
預貯金の取崩し(繰入金)	6千円(1.9%)	5万円(16.6%)
借金(市債)	3万5千円(11.6%)	2万円(6.6%)
合計	30万円(100.0%)	30万円(100.0%)

支出	28年度	29年度
食費(人件費)	4万5千円(15.1%)	4万1千円(13.6%)
光熱費などの生活費(物件費・補助費)	9万1千円(30.5%)	7万4千円(24.8%)
家族の医療費(扶助費)	4万円(13.4%)	3万6千円(11.9%)
車や家具の修理費(維持補修費)	2千円(0.5%)	1千円(0.4%)
子どもたちへの仕送り(他会計繰出金)	0円(0.0%)	1万8千円(6.1%)
家の増改築など(投資的経費)	3万3千円(11.1%)	3万1千円(10.4%)
貯金など(積立金・貸付金・出資金)	3万7千円(12.5%)	4万7千円(15.6%)
借金返済(公債費)	4万3千円(14.3%)	4万6千円(15.3%)
合計	29万1千円(97.4%)	29万4千円(98.1%)

前提条件
歳入科目を自主財源(市税など)と依存財源(地方交付税、国・県支出金など)に分ける方法があるが、今回は違う角度から市の決算を分析。地方交付税は決算額の約32%を占める依存財源。税収の多い自治体と少ない自治体間の財源調整などのために、いったん国が集めた税を地方自治体に再配分しているもの。本来的に地方自治体の収入と言えるため、ここでは「給料(諸手当、期末手当)」に区分している。

分析結果
収入では、財政力指数にも表れているが、基本給(市税収入)が少なく、地方交付税などの諸手当に依存。29年度は預貯金の取崩し(基金からの繰入金)の割合が高くなっている。支出では、子どもたちへの仕送り(他会計繰出金)が増したほか、借金返済である公債費の割合が毎年大きな割合を占めている。貯金(積立金など)も毎年行っている。毎月の収入額合計30万円と支出額合計額の差(29年度で6千円、28年度で9千円)は、厳しい財政状況の中にあっても、やりくりをして支出額を抑え、次年度以降のために現金を手元に保管している状態を示している。実際の決算では、これらが繰越金の原資となる。



9月定例会

一般質問 21人

市民の皆さんの身近な問題、市の予算や政策など、さまざまな課題について活発な議論を交わしました。

市議会の本会議がインターネットでご覧になれます！



インターネットにより、定例会のようすをライブ中継と録画中継で映像配信しています。ぜひご覧ください。

豊岡市議会インターネット中継

検索

西田 真 (7ページ)

- 障害者福祉
- 専門職大学誘致
- 豊岡市職員の定期採用試験
- 空調設備の整備
- 防災・減災

関 久仁郎 (7ページ)

- 豊岡市の印象
- 結果の出ない(?)継続事業
- 城崎国際アートセンター、関連施設、NOMOベースボールクラブ
- 専門職大学設置予定から派生した市長の言葉
- 通学路の安全対策

浅田 徹 (8ページ)

- 減災・防災対策の推進
- 法定外公共物の里道・水路の管理
- 学校教育の推進
- スポーツ施設の整備

岡本 昭治 (8ページ)

- 新市民会館の取り組み
- 豊岡市の水害に対する防災・減災
- 地域コミュニティの取り組み

椿野 仁司 (9ページ)

- 市長総括説明

村岡 峰男 (9ページ)

- 農政
- 専門職大学
- 29年度決算

清水 寛 (10ページ)

- 7月豪雨と20号、21号台風の事例
- 市民の日頃の心構えや備え

石津 一美 (10ページ)

- 風水害被害を未然に防ぐために
- 子どもの貧困
- 子どもの歯の健康
- 生活保護関連

芦田 竹彦 (11ページ)

- 防災・減災対策
- 学校・通学路の安全対策
- 高齢者肺炎球菌ワクチン
- 市民からの要望

井垣 文博 (11ページ)

- 観光による豊岡市のまちづくり
- 安全・安心なまちづくり
- 学力の向上

井上 正治 (12ページ)

- 市長総括説明
- 地域公共交通事業
- 地域の課題

足田 仁司 (12ページ)

- 会計年度任用職員制度
- 防災対策
- 幼稚園・保育所・認定こども園の猛暑対策
- 市の貧困対策

福田 嗣久 (13ページ)

- 平成29年度決算と長期財政見通し

松井 正志 (13ページ)

- 専門職大学
- 地域課題
- 水道事業経営
- 一般会計当初予算に対する決算の評価
- 提出議案

土生田 仁志 (14ページ)

- 学校教育
- 地方創生

竹中 理 (14ページ)

- 市長総括説明
- 中小企業支援
- スポーツ支援
- 決算

奥村 忠俊 (15ページ)

- 災害対策
- 公共施設再編計画
- 臨時・嘱託職員
- 老人福祉事業

青山 憲司 (15ページ)

- 29年度決算
- 長期財政見通し
- 産業支援事業
- 高校を拠点とした地方創生事業
- 7月豪雨における課題と対応

田中 藤一郎 (16ページ)

- 教育
- 地方創生

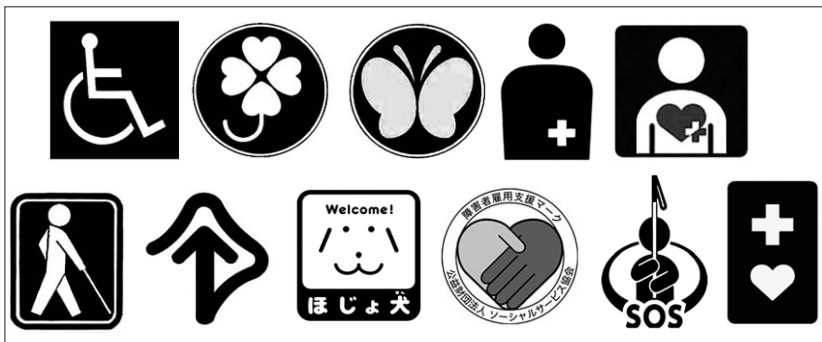
上田 伴子 (16ページ)

- 地域コミュニティ
- 「豊岡市における幼児教育保育及び放課後児童クラブのあり方計画」の策定
- 放課後児童クラブ
- 障害者雇用

上田 倫久 (17ページ)

- 専門職大学誘致
- 東京直行便
- 北近畿豊岡自動車道
- 自治体病院
- 森林環境税(仮称)
- 地域防災

市政を問う



いくつ知っていますか?...障害に関するマークいろいろ



西田 真 議員
(ひかり)

「障害者マーク」の周知・広報を

問 障害者に関するマークは、身体障害者マーク、聴覚障害者マーク、ほじょ犬マーク、ヘルプマーク等11種類あり、当事者が身につけて周りの人に

答 豊岡市がやることは、用地の無償貸与と8億円の寄付の2点で、県とは協議が済んでいる。それ以上の負担はないと理解して結構だ。

小学校のエアコン設置

問 今年のような異常気象、災害級の猛暑の中、体力ができていない子どもたちの教室に一日でも早い設置、平成31年6月

答 来年の夏までにできるように検討したが、小学校は29校と多く、整備を担うマンパワーが不足している。

問 専門職大学誘致
県は、建設費に凶っていききたい。

問 県は、建設費



関貫久仁郎 議員
(新風とよおか)

市民が納得いかない市の施策ばかり?

豊岡のアンテナショップ?

問 豊岡産品がほとんどない。豊岡のアンテナショップと言えるのか

答 指摘のとおり、市外の製品の割合が増加している。運営会社と協議の上、早急な改善に努めた

察知できたら、対策を

問 学校ブロック塀の危険性を市は察知できたか

答 法令定期点検を正しく行えば可能であった。可能であり、処置を行ったのか

問 通学路の事前安全対策、認識できる危険な狭い線路下道路、歩道拡幅はできないか。国は道路設置基準法令はあるが、

答 地方の事情を十分に考慮、

問 道路管理者の決断と言っているがどうか

答 卸団地を通る小田井中陰線、幹線市道以外のアンダーパスの改良は大変難しい状況。できる範囲で検討したい。

KAC圧倒的成功? 市は芸術のタニマチ?

問 城崎アートセンター(KAC)は、無料だから多く利用されるのでは
答 無料は大きな要素である。街が心地よい、アーティスティックの滞在に配慮し受け入れる。それが活況につながっている。

問 商工会 建屋(旧日



旧日高町庁舎 どう変わっていくのか?

市政を問う



浅田 徹 議員
(新風とよおか)

水害対策とスポーツ施設整備の推進を

水害・内水・避難所対策

問 県が千年に一度の洪水浸水想定を発表し、日高町で最大13・2mとなる可能性が否定できないため、県はハザードマップや避難所の確保について支援すると言っているが、市の対応はどうか
答 市は千年でなく、百

年に一度の浸水想定による災害対策を進めていく。公共・下水道施設やポンプ施設など効率的な使用と田んぼダムの取り組みにより、豊岡市街地、国府平野、日高市街地などの住宅地からの雨水を河川までいち早く排水する抜本的・計画的取り組みが必要と考えるがどうか

問 避難所に健康管理のできる職員の配置と高齢者の方の避難に専用車の使用ができないか
答 人数的に保健師の常駐は難しいが、要請があれば派遣して避難者の健康管理を行っている。送迎については、家族や支援者と相談・協議し各施設への早めの対応をお願いしたいと考えている。

スポーツ施設の整備

問 市内の各所で内水対策の検討が必要なものが多いが、認識しているが、その対策は多岐にわたることから、庁内の横断的組織である内水対策庁内検討会を組織し、一体的かつ効率的な対策を検討しているか
答 市内の各所で内水対策の検討が必要なものが多いが、認識しているが、その対策は多岐にわたることから、庁内の横断的組織である内水対策庁内検討会を組織し、一体的かつ効率的な対策を検討している。

問 総合体育館に全国レベルの大会誘致のためのサブ施設、陸上競技場に本部席の整備が必要と考えるがどうか
答 総合体育館のサブ施設や陸上競技場の本部席整備は県大会以上の大会誘致や機器の長寿命化の観点から整備の必要性を感じているが、市全体の体育施設のあり方を検討すべきと考えている。

新市民会館の基本理念

問 長期の使用に耐え、文化的にも優れ、世代を超えて利用できる建物を構築することが必要と考えるがどうか
答 使い手の側、聴く側の意見等も十分配慮しながら、決して華美でなく、大き過ぎることもなく、自分たちのところにこんな素敵なおもてができた、と言われるものをつくっていききたい。

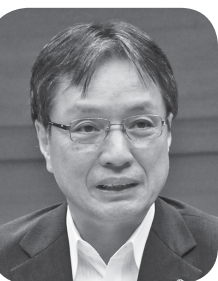
地域コミュニティの姿

問 地域コミュニティの目指すべき姿をどこにしているのか
答 自分たちの地域は自分たちで守るということを基本に置き、多様な住民が参画したまちづくりを進め、やりがいを持って行動し、地域に愛着と誇りを持つこと、これをコミュニティの目指す姿としている。新たに目指す姿や将来像など、ビジョン策定検討委員会に

市民が納得できる施策が大切

問 森林境界の確定調査等、あるいは森林所有者が不明であったり、奥地等の条件不利地域である場合の間伐や路網整備が進むものと考えているか
答 森林境界の確定調査等、あるいは森林所有者が不明であったり、奥地等の条件不利地域である場合の間伐や路網整備が進むものと考えている。

問 一括交付金の見直しについての考えは
答 29年度からおおむね3年間程度の決算状況を検証する中で、必要があれば見直しを検討していきたい。



岡本 昭治 議員
(新風とよおか)



内水対策の抜本的な取り組みの推進を！(江本市内)

一体的かつ効率的な対策を検討している。

一体的かつ効率的な対策を検討している。

防災・減災にむけて

問 上流の土砂は上流で、下流の土砂は下流で採取する一体的な取り組みが必要と考えるがどうか
答 国、県、市が連携して、上流から下流に至る間の治水安全対策に取り組んでいきたい。

問 森林境界の確定調査等、あるいは森林所有者が不明であったり、奥地等の条件不利地域である場合の間伐や路網整備が進むものと考えているか
答 森林境界の確定調査等、あるいは森林所有者が不明であったり、奥地等の条件不利地域である場合の間伐や路網整備が進むものと考えている。

問 森林環境税(仮称)の施行により市で期待できる事業内容は

答 森林環境税(仮称)の施行により市で期待できる事業内容は



穴見川土砂堆積状況(森尾市内)

※森林環境税(仮称)とは 荒れている森林を整備するため国が市町村を経由して徴収する税金

市政を問う



豊岡の未来？ 雲の彼方のその先の先は…

平成32年、合併特例債がなくなり地方交付税も減少、さらに人口減少により市税収入・使用料も減る。多くの人々のために造られた施設などをゼロにするわけにいかない。しばらくは、わずかな人々で支えていくしかない。歳入増には滞納額の減少、使用料・手数料の適正化、ふるさと

納税拡充や財産処分など新たな財源確保を考える。歳出減額は事務事業の効率化、各施設の効率的運営と統廃合、人件費抑制が必要である。施設の機械設備の維持管理などの業務の包括管理委託を検討していく。水道事業の運営も但馬で連携を図る。危機管理の点で民営化は行わない。子育てなどの無料化は国策とされるべきである。

問 29年度の決算は、8億円を超える黒字となった。うち、個人市民税の超過負担は、5千万円を超える。黒字の時にこそ廃止すべきではないか

答 単年度収支が赤字となることはない。超過課税と黒字決算との関連性はない。予定した事業はおおむね実施でき、市民要望は着実に実現できた。

問 国の農業災害補償法が、農業保険法に改正される。条例の全部を改正する提案だが、どこが変わり、農業者にとってのメリット・デメリットはどうか

問 赤字には基金を充当、故に基金残高は大きく減少し続け、厳しい財政状況は変わらない中で、持続可能な行政を目指し経費節減を進めるとしているが、人口減少時代を迎える20年30年40年先を見据え、将来にわたり健全な行政運営が持続可能であると提唱できるのか

答 未来を見ることを忘れてはならない。将来世代へ与える多くの影響には責任を果たしていく。市の歳入歳出をしっかりと見定め、未来のために人口減少トレンドに合うようなまちのあり方に積極的に変えていく必要がある。

問 地域コミュニティを主体としたコンパクトで暮らしやすい新たなまちづくりは生活の利便性や行政コストの効率性の面で有効な視点と考える。市は広大な地域を有し、市民がその地域に愛着を持ち生活をしている。コンパクトの程度によるが難しい課題もあると認識する。

問 今後もしも継続して取り組む。子ども医療費の無料化は実現すべきではないか。就学前も有料は県下で豊岡市だけだが、しない理由がわからない。超過負担分だけでも市民に返すべきではないか。中貝という貝の殻

答 専門職大学、こんな校舎になるのかな…

問 無事戻し金は廃止される。結果的には掛け捨てとなる。



梶野 仁司 議員
(とよおか市民クラブ)

豊岡市の将来は？ 大丈夫？



村岡 峰男 議員
(日本共産党・あおぞら豊岡市会議員団)

市民税の超過負担は、 廃止すべきだ

問 専門職大学・市の負担

市政を問う



少しずつ、でも着実に工事が進む治水事業（浅倉付近）

問 小規模な災害から適用。臨時に地区の集積場を設置した場合、区長からの報告にもとづいて、市が回収。個人持込みは、罹災証明書などを提示して減免を受ける。災害ボランティアセンターは、大規模災害が発生した場合に設置。災害時対応協定は、全市的に対応が

答 必要な場合に要請したい。
問 通行止め情報の対応状況はどうか
答 現在の通行止め情報は路線名のみで、具体的な範囲がわからない。今後、国道、県道を含む市内の幹線道路については、ホームページに略図による情報発信を行っていく。

問 防災マップに高齢者世帯を落とし込むことが必要と思うがどうか
答 防災マップに高齢者宅を入れるのを行政が一元的にやるのは不可能。地域で取り組んでいたために3種類のマップを準備。浸水深や土砂災害の危険度の防災マップ、避難ルートなどを考えていた。標高マップ、そして高齢者やその地域固有の危険箇所を書き込んだものも作っていた。地域で作っていただけと期待している。



清水 寛 議員
(新風とよおか)

災害に強いまちづくりへの取り組みは

問 過去の水害や土砂災害の経験で、すべてのケースに対応できたか
答 過去の経験が役に立たない事例も増えている。他方で、气象台、ウエザーニューズ社、アメリカ軍の進路予測、国土交通省とも情報交換して、市民に避難情報を提供している。対応能力は飛躍的に上がっているが、結局市民の皆さんが逃げるといふ行動をとらなければ、何の意味もない。一人一人が災害対応能力を高めたい。ただ、大切と考える。

問 災害ごみ、災害ボランティア、災害時の応援協定の基準はどうか
答 災害ごみは、比較的小規模な災害から適用。臨時に地区の集積場を設置した場合、区長からの報告にもとづいて、市が回収。個人持込みは、罹災証明書などを提示して減免を受ける。災害ボランティアセンターは、大規模災害が発生した場合に設置。災害時対応協定は、全市的に対応が



石津 一美 議員
(豊岡維新の会)

子どもの貧困と生活保護関連



生活困窮者の支援

教育面では希望する学校まで進学させるお金がない世帯が60・1%と高い割合になっている。子どもの貧困は要する親の貧困である。市として何が出来るか、しっかりと考えていきたい。

問 中学生の就学援助者の塾代助成はどうか
答 豊岡がやはりタイムにおいて地域人材を活用した個別の学習指導を放課後に行う。実情に応じた取り組みを進めている。市費によるスクールアシスタントを配置する取り組みを支援している。

子どもの貧困

問 児童扶養手当受給者、就学援助制度利用者に対する29年度実施アンケート結果の課題、問題点は何か
答 10月ごろを目途にとりまとめ中である。現時点での問題は、生活費全般の確保が最も高く、

母子家庭等医療費助成

問 母子家庭の高校生までの医療費助成の所得制限を緩和できないか
答 本市で独自に福祉医療費の助成の規則を制定して支給している。本年8月から一部緩和されている。現時点で市単独で

※グルグル病院・グルグル生活

問 医療機関が診療報酬のために転院を繰り返させようとした場合、福祉事務所は把握できるか
答 医療機関から受給者を転院させる場合、事前に必要理由、予定先を記載した連絡表の提出を求め、福祉事務所として転院の必要性について確認している状況である。

※グルグル病院・グルグル生活とは

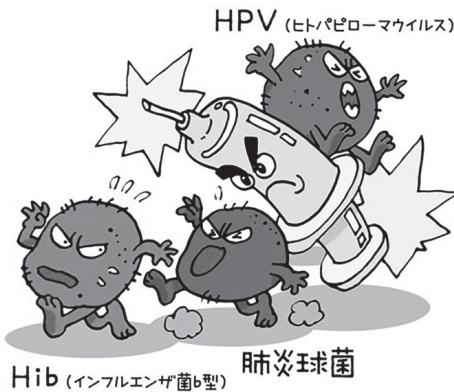
短期間に複数の病院で転院を繰り返す生活のこと

市政を問う



芦田 竹彦 議員
(豊岡市議会公明党)

高齢者肺炎球菌ワクチンの救済措置の必要性



HPV (ヒトパピローマウイルス) 肺炎球菌 Hib (インフルエンザ菌b型)

学校通学路の安全対策

問 民間ブロック塀の撤去、改修費の財政支援の制度が必要と考えるが

答 県は、危険ブロック塀等の撤去について、支援事業を検討している。市では、これを受け危険なブロック塀の撤去等について、費用の一部を助成する。

問 避難訓練の定期実施と地域の共助および、防災無線の活用はどうか

答 訓練を定期的に実施することは、地域の自助努力、共助努力の向上につながるため、今後とも着実に進めていきたい。防災行政無線の活用につ

問 学校園の耐震化・老朽化対策はどうか

答 耐震化は、29年度まで11校に落下防止対策を実施。31年度にかけて9校実施し、残る小学校も引き続き実施する。老朽化対策は、学校施設の個別施設計画を策定し、計画的に実施する。

問 避難訓練の定期実施と地域の共助および、防災無線の活用はどうか

答 訓練を定期的に実施することは、地域の自助努力、共助努力の向上につながるため、今後とも着実に進めていきたい。防災行政無線の活用につ

問 学校園の耐震化・老朽化対策はどうか

答 耐震化は、29年度まで11校に落下防止対策を実施。31年度にかけて9校実施し、残る小学校も引き続き実施する。老朽化対策は、学校施設の個別施設計画を策定し、計画的に実施する。

問 避難訓練の定期実施と地域の共助および、防災無線の活用はどうか

答 訓練を定期的に実施することは、地域の自助努力、共助努力の向上につながるため、今後とも着実に進めていきたい。防災行政無線の活用につ

問 避難訓練の定期実施と地域の共助および、防災無線の活用はどうか

答 訓練を定期的に実施することは、地域の自助努力、共助努力の向上につながるため、今後とも着実に進めていきたい。防災行政無線の活用につ

問 避難訓練の定期実施と地域の共助および、防災無線の活用はどうか

答 訓練を定期的に実施することは、地域の自助努力、共助努力の向上につながるため、今後とも着実に進めていきたい。防災行政無線の活用につ

豊岡の観光の宝・竹野の海

問 学校園の耐震化・老朽化対策はどうか

答 耐震化は、29年度まで11校に落下防止対策を実施。31年度にかけて9校実施し、残る小学校も引き続き実施する。老朽化対策は、学校施設の個別施設計画を策定し、計画的に実施する。

問 避難訓練の定期実施と地域の共助および、防災無線の活用はどうか

答 訓練を定期的に実施することは、地域の自助努力、共助努力の向上につながるため、今後とも着実に進めていきたい。防災行政無線の活用につ

問 避難訓練の定期実施と地域の共助および、防災無線の活用はどうか

答 訓練を定期的に実施することは、地域の自助努力、共助努力の向上につながるため、今後とも着実に進めていきたい。防災行政無線の活用につ

問 避難訓練の定期実施と地域の共助および、防災無線の活用はどうか

答 訓練を定期的に実施することは、地域の自助努力、共助努力の向上につながるため、今後とも着実に進めていきたい。防災行政無線の活用につ

問 避難訓練の定期実施と地域の共助および、防災無線の活用はどうか

答 訓練を定期的に実施することは、地域の自助努力、共助努力の向上につながるため、今後とも着実に進めていきたい。防災行政無線の活用につ



井垣 文博 議員
(とよおか市民クラブ)

豊岡のブランド力を高める観光ビジョンを！

観光ビジョン

問 観光ビジョン策定の目的はどこにあるか

答 観光産業、大交流が市のまちづくり、産業にとってどういう意義を持つのか、そのことを押さえ、可能性を探る。

問 専門職大学が豊岡のブランド力向上に果たす役割は大きい。ビジョンでその役割について言及すべきではないか

答 ビジョンは専門職大学の自身に影響を与えることを狙ってはいない。しかし、両者が求めているものはかなり合致しているもので大いに影響を与えるものと考えられる。

問 今後のインバウンド対策では滞在型、体験型の農山村漁村のプログラムの強化が必要だ。来年のラグビーワールドカップに向けてどのような誘客対策を考えているか

問 観光ビジョン策定の目的はどこにあるか

答 観光産業、大交流が市のまちづくり、産業にとってどういう意義を持つのか、そのことを押さえ、可能性を探る。

問 専門職大学が豊岡のブランド力向上に果たす役割は大きい。ビジョンでその役割について言及すべきではないか

答 ビジョンは専門職大学の自身に影響を与えることを狙ってはいない。しかし、両者が求めているものはかなり合致しているもので大いに影響を与えるものと考えられる。

問 今後のインバウンド対策では滞在型、体験型の農山村漁村のプログラムの強化が必要だ。来年のラグビーワールドカップに向けてどのような誘客対策を考えているか

問 観光ビジョン策定の目的はどこにあるか

答 観光産業、大交流が市のまちづくり、産業にとってどういう意義を持つのか、そのことを押さえ、可能性を探る。

問 専門職大学が豊岡のブランド力向上に果たす役割は大きい。ビジョンでその役割について言及すべきではないか

答 ビジョンは専門職大学の自身に影響を与えることを狙ってはいない。しかし、両者が求めているものはかなり合致しているもので大いに影響を与えるものと考えられる。

問 今後のインバウンド対策では滞在型、体験型の農山村漁村のプログラムの強化が必要だ。来年のラグビーワールドカップに向けてどのような誘客対策を考えているか

また、読書

問 観光ビジョン策定の目的はどこにあるか

答 観光産業、大交流が市のまちづくり、産業にとってどういう意義を持つのか、そのことを押さえ、可能性を探る。

問 専門職大学が豊岡のブランド力向上に果たす役割は大きい。ビジョンでその役割について言及すべきではないか

答 ビジョンは専門職大学の自身に影響を与えることを狙ってはいない。しかし、両者が求めているものはかなり合致しているもので大いに影響を与えるものと考えられる。

問 今後のインバウンド対策では滞在型、体験型の農山村漁村のプログラムの強化が必要だ。来年のラグビーワールドカップに向けてどのような誘客対策を考えているか

問 観光ビジョン策定の目的はどこにあるか

答 観光産業、大交流が市のまちづくり、産業にとってどういう意義を持つのか、そのことを押さえ、可能性を探る。

問 専門職大学が豊岡のブランド力向上に果たす役割は大きい。ビジョンでその役割について言及すべきではないか

答 ビジョンは専門職大学の自身に影響を与えることを狙ってはいない。しかし、両者が求めているものはかなり合致しているもので大いに影響を与えるものと考えられる。

問 今後のインバウンド対策では滞在型、体験型の農山村漁村のプログラムの強化が必要だ。来年のラグビーワールドカップに向けてどのような誘客対策を考えているか

問 観光ビジョン策定の目的はどこにあるか

答 観光産業、大交流が市のまちづくり、産業にとってどういう意義を持つのか、そのことを押さえ、可能性を探る。

問 専門職大学が豊岡のブランド力向上に果たす役割は大きい。ビジョンでその役割について言及すべきではないか

答 ビジョンは専門職大学の自身に影響を与えることを狙ってはいない。しかし、両者が求めているものはかなり合致しているもので大いに影響を与えるものと考えられる。

問 今後のインバウンド対策では滞在型、体験型の農山村漁村のプログラムの強化が必要だ。来年のラグビーワールドカップに向けてどのような誘客対策を考えているか

また、読書

市政を問う



井上 正治 議員
(とよおか市民クラブ)

地域公共交通事業対策

神鍋線200円バス

問 この1年の協働運行に対する所見と10月以降の方向性はどうか

答 地元では、乗ってもらうさまざまな努力が続けられ、地域づくりと地域での団結で大きな成果があった。利用者数は事業継続の目安10万人は達成する見込み。

地域・運行事業者・市の3者が一体となり、それぞれの役割を果たし、路線維持に向け、毎年運行状況を分析・評価し、持続可能な運行計画を検討する。9月末での利用実績を見据え、4月以降の運行計画を決定する。

市は、この取り組みが路線維持に必要不可欠と考え、今後も継続して連携し取り組んでいきたい。

コウノトリ但馬空港

問 新型機就航後の運航



「協働運行中」神鍋線 200円バス

状況はどうか

答 8月末までの就航便数は442便、欠航は26便。しかし、15分以上の遅延便が143便ある。飛行機が九州方面を飛行する間に、搭乗手続、天候不順で遅れが発生し、最終に就航する但馬便で遅延が発生。

この状況を市では重く受け取り、改善申し入れを行う。

問 運賃助成の検証と今後の方向性はどうか

答 構成団体との関係もあり市単独での検討は難しい。構成団体と連携を図り考えていきたい。

通学路の安全対策

問 インターチェンジ開

通後の村岡方面の通学路安全対策はどうか

答 十戸から石井の間で27年度から側溝のふた掛け、グリー

ンベルトの設置が行われている。

現在十戸地区の側溝のふた掛け、ラバーポールの設置工事中。最も狭い区間の張出歩道90

mも30年度着手する予定。



足田 仁司 議員
(ひかり)

災害時、人はなぜ逃げないのか

重々気をつけなければならぬと思う。

問 この10

年間避難率はアップしたのか

答 データを取っていないので分からない。今後、何らかの方法で確認できないか、宿題として研究したい。

問 医療支援が必要な人は、誰がどうやって助けるのか

答 自主防災組織や近所の人に任せられないため、消防本部で対応したい。

問 消防団員や地域の方々は、有事の際に無理をしてしまう恐れがあるが、対策はどうか

答 命を懸けないでください。救助は自分の安全確保ができてからということ徹底したい。

猛暑対策

問 小さな命をあずかる幼稚園・保育所・認定こども園の猛暑対策はどうするのか

答 保育所・認定こども園の空調設備整備は、ほぼできている。幼稚園は夏季休業があるため整備されずにきたが、整備を検討したい。

貧困対策

問 市民の所得を増やすことが市の活性化につながると思うがどうか

答 市は賃上げを推進する立場にない。

問 生活保護予備軍のワーキングプアの実態調査はしないのか

答 ワーキングプアの実態調査はしない。



みんなで避難訓練

市政を問う



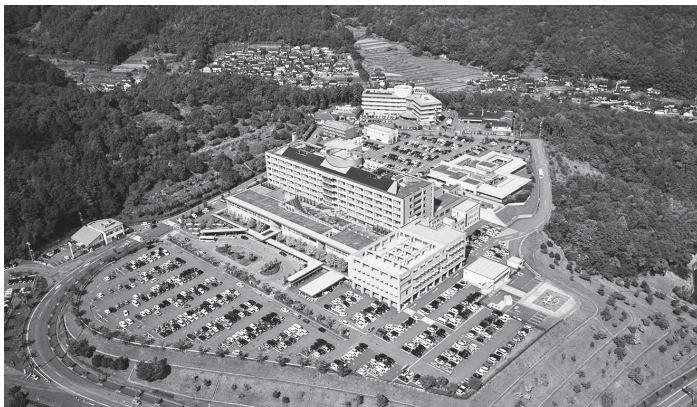
福田 嗣久 議員
(とよおか市民クラブ)

29年度決算と 長期財政見とおし

豊岡病院組合と連携し、一緒になって支えていく。

問 人口減少、市税収入の減少見とおしの中で職員数、人件費をどのように考えているのか

答 市の職員数はかなり多い方である。人口減少に比例して減らすのも一つの流れているが、どのような組織体制でどのような事業を展開していくか。今後とも業務効率生産性を上げていくため、職員が不断の努力をしていくことは必須の条件である。



市民の安心の砦 (公立豊岡病院)

問 人口減少、市税収入の減少見とおしの中で職員数、人件費をどのように考えているのか

答 市の職員数はかなり多い方である。人口減少に比例して減らすのも一つの流れているが、どのような組織体制でどのような事業を展開していくか。今後とも業務効率生産性を上げていくため、職員が不断の努力をしていくことは必須の条件である。

問 26年度から事業化される、今年度から本工事に着手する。今後、着実に進んでいく。通行止め等の看板、情報提供等、より分りやすく迅速に対応するよう働きかけていく。

答 26年度から事業化される、今年度から本工事に着手する。今後、着実に進んでいく。通行止め等の看板、情報提供等、より分りやすく迅速に対応するよう働きかけていく。

専門職大学

18歳人口は減少、大

学存続が厳しい中、専門職大学は地方創生、人口減少対策の切り札と明記されている。その勝算はあるのか

問 県へ貸与する土地の購入費や市の固有事務でない事業に地域振興基金を充てることが適切か

答 金網柵等は毎年すべての要望に対応している。バッファゾーンは、年に1地区程度の採択で、順番を待ってもらっている。

問 鳥獣被害は個人の力だけでは避けられない。施設等を図るため、適切な対応が必要とされている。今後の施設のあり方を見極めること、工法等十分調整したい。

答 農家の方々にとっては災害に違いないと思っていない。バッファゾーンの面積要件の検討のほか、※森林環境譲与税を使うことも研究している。

問 市民と議員の懇談会で、建物の根幹にかかわる屋根の修繕を何年要望しても予算がないと断

答 市民と議員の懇談会で、建物の根幹にかかわる屋根の修繕を何年要望しても予算がないと断

岩屋峠の事業進捗

問 主要地方道宮津養父線岩屋峠部の事業進捗はどうか。通行規制時の案内表示を分りやすくしてほしい

答 26年度から事業化される、今年度から本工事に着手する。今後、着実に進んでいく。通行止め等の看板、情報提供等、より分りやすく迅速に対応するよう働きかけていく。



松井 正志 議員
(とよおか市民クラブ)

専門職大学の土地取得 地域振興基金が適切か

問 金網柵等は毎年すべての要望に対応している。バッファゾーンは、年に1地区程度の採択で、順番を待ってもらっている。

答 鳥獣被害は個人の力だけでは避けられない。施設等を図るため、適切な対応が必要とされている。今後の施設のあり方を見極めること、工法等十分調整したい。



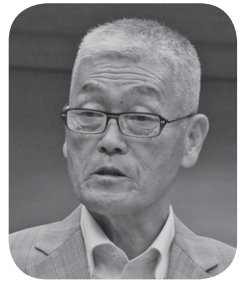
バッファゾーンや金網柵で農地を守る

※森林環境譲与税(仮称)とは、国が検討中の譲与税で、森林環境税(仮称)を財源として、森林整備等のために地方自治体へ交付されるもの。

市政を問う



涼しい教室 使えるかな？



土生田仁志 議員
(新風とよおか)

市内全小学校普通教室へ エアコン対応を

快適な環境で学習を

問 エアコン設置状況に関して、クールスポットでの平均の利用率、一人あたりの時間、空間につ

いてはどうか

答 全ての小学校にエアコン設置状況の聞き取りを行い、各校に2部屋以上のクールスポット整備を目標に検討し、児童数

に加え、工事ができる期間がまとまった休みでしかできない。今後でもできる限りの知恵を働かせ1校でも早くできるように努力をする。

動き始めた専門職大学

の多い五荘、日高、豊岡、八条小学校について3部屋以上になるように調整している。今回の整備は、緊急対策として短期間で行うため、児童数に配慮はしているが、面積は平等とはなっていない。

問 近年隣接する地域で、私立大学から公立大学へ変更したことで、定員に達しなかった受験生を、大きく増加させた大学の例もある。

答 定員に対する受験生の見込みはどうか

問 31年度中に対応する学校がほとんどで32年度対応の小学校が7校残っている。前倒しが必要だがどうか

答 今回の大学は、国立の大学としては、演劇を体系立てて学ぶことができる唯一の大学となるリーダーは、日本を代表する劇作家、平田オリザ氏である。他の同様の大学との関係で、競争力はあると考えている。したがって定員に対する学生の確保は必ずできるものと考えている。

問 できるだけ早く全校に整備したいと考えている。マンパワーの不足

答 できるだけ早く全校に整備したいと考えている。マンパワーの不足



竹中 理 議員
(豊岡市議会公明党)

中小企業の支援拡大を

問 国は平成26年から「よろず支援」という名

で47都道府県に拠点を置き、無料で中小企業支援を本気で始めている。

最近全国の21の自治体が無料で中小企業支援を支援するために新しい認定支援機関をつくり、その結果成功する企業が増え、当然市に税収が増えていると聞く。市は取り組む考えはあるか

答 市も研究を重ねている。運営に多額のコストを要するもので慎重に見極めていく。現在商工会では伴走型支援で販売拡大や新事業の展開に成功している例も見受けられる。さらに効率を上げるために内発型産業育成に関わる具体的な取り組みを各支援機関から意見を聞き、強化や相互協力のできる組織をつくるのか、新たな産業支援機関をつくるのかをできるだけ早

くまとめ上げる。

問 商工会、商工会議所の支援数が1万件弱であり頑張っている。競い合いながらやることも大事。静岡県富士市の※f-Bizが全国トップを走っており、累計3万件的支援実績がある。以前行政側も視察に行きアンテナを立てられていたそうだが、その後進まない理由は何か

答 やはり運用費用がかかることが原因。福知山市のどこいせびんは年間3千万円ほど費用がかかっており、内容は評判が良いと聞く。評価はこれから。

がセミナーを行い、経営塾や経営支援も行っている。市がこれらと組んで支援することも一つの手段である。従って市としてf-Bizのような取り組みは現在としては

ニユートラルな状態である。f-Bizのような支援機関をつくることも含め検討していきたい。



富士市産業支援センター (f-Biz)

※f-Bizとは 静岡県富士市の行政発ビジネス支援のこと

市政を問う



奥村 忠俊 議員
(日本共産党・おおぞら
豊岡市会議員団)

浸食された奥山川堤防 応急措置で大丈夫か！

問 昨年10月の台風21号で、奥山川左岸堤防2か所がえぐり取られた。工事は発注されているが出水期で着手できない。平成16年にもついでおり心配する声。大丈夫か

答 出水期であり、堤防を切るなどの大きな工事は、最大被害の発生が考えられる。応急対策工事はされている。

問 出水期(6月~10月)まで7か月間あったが工事は無理だったのか

答 大きな災害であり、査定、設計、業者決定まで時間がかかる。県も緊急度が高いとして応急対策を実施、現場の巡視も強化を依頼。出水期が明ければ本工事に入る。

問 谷に堰堤が造られている。古いものは土砂で埋まっているが撤去しなくてもいいのか

答 砂防ダムは溪流部に設置され、堆積すること

で勾配が緩くなる。このことで効果を発揮する。

土砂降りでの作業 敬意と感謝

問 7月豪雨は3日間続いた。土砂降りの中、消防団は土のうを積む。警戒、見回り、声掛けなど地域を守る使命に我が家は後回しで出勤する。本

当に頭が下がる。市民の安心を保障してくれている。長期出勤には何らかの待遇が必要ではないか。

また、犠牲を払って市民のために頑張る消防団員に対し、我々は敬意を表しているだろうか。

「う」と言っているだろう

答 言われるとおり、消防団員の皆さんの頑張りに頭が下がる。感謝している。待遇改善については、報酬・出勤手当を平成27年に引き上げ、但馬では最も高い。報酬等引き上げる考えはない。

感謝の気持を持っており、それをいろんな形で伝え返していきたい。



平成29年10月の台風21号で浸食された奥山川(福住付近)



青山 憲司 議員
(ひかり)

子ども医療費の 無料化を求める！

問 兵庫県下で3歳まで医療費が一部有料は、本市だけだ。子ども医療費無料化の実現性はどうか

答 医療費制度は、相互扶助の制度だ。本来なら3割払うべきところ、1回400円、一月2回までとし、1億2200万円の支援を既に行っている。

さらに無料化すると、年間6700万円が必要だ。15年間で約10億円となり、補助金と合わせて中学校が1校できる。これだけの税金を使って何を達成しようとしているのか、

納得できる提案をいただいたことがない。子育て支援は、医療供給体制の充実、教育、保育の水準、放課後児童対策、図書館の整備等総合的になされるべきである。

問 本市の納税者1人当たりの年間所得は、全国平均の304万円に比べて約238万円と約66万

円少ない。所得の低い住民は仕事帰りに2割、3割安い食材を求めてスーパーに行く。また、就学援助率が全国平均より6ポイント低い。さらに類似団体85自治体の中で本市は扶助費が一番低い。

子ども医療費にお金をかけることは何ら問題ないのではないかと

答 扶助費が低い最大の理由は、生活保護費にある。豊岡では小学校から英語教育をしている。全体を見ずに一部だけを見る政策論はおかしい。

問 「いのちへの共感に満ちたまちづくり条例」の中に「安心して子どもを産み、育て、子どもたちの笑顔が輝くまちをつくるため、まちぐるみで子育て支援活動を進めていきます」とある。1人当たりの所得が約100万円多い神戸市ですら3歳未満は無料だがどうか

答 沖縄県は日本で最も出生率が高い。医療費の補助のレベルはかなり低い方だ。



子ども医療費無料化で子育て家庭のさらなる支援を！

市政を問う



田中藤一郎 議員
(新風とよおか)

教育と経済！ どちらもとても大事

豊岡の教育

問 「幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画」で各地域間の違いをどのように考えるのか

答 地域間でのあり方については想定していないが、計画を検討していく中で違いは出てくることでもある。計画を策定する中で住民説明会を開きニーズ等を吸い上げたい。

問 幼児教育無償化による対応策と今後の予定は

答 保育ニーズが高まる

ものと推測している。ただ、どの程度影響があるかは明らかではない。

問 策定していく中で、公募型で今後の方針を決めるとあるがどうか

答 今回は公募型プログラムで業者委託し、豊富な経験業者とタッグを組み、スピード感を持って全てを一緒にやっっていく。

問 中学3年生による「イングリッシュサマーキャンプ」の成果・結果と、今後の考え方は

地方創生での観光戦略

問 少人数グループでオールイングリッシュを基本に3日間活動を行った。好意的な意見が多かった。今後、引き続き学校内外で英語を使い活用できるかを、提供の仕方も含め検討していく。

問 アジア圏に対するウエブおよびそれ以外の外国での戦略と考え方は

答 アジア圏での英語によるウエブ広告の効果は低い。現時点では引き続き英語を基本に欧米豪をターゲットにしていく。アジアに関しては、多文化の必要性から慎重に協議していきたい。

問 英語だけでなく、やはり相手の立場に立った時に自国語が必要では

答 もうすでに検討・研究しており、状況を見きわめて適切なタイミングで考えていきたい。



明るい未来はそこにある



上田 伴子 議員
(日本共産党・おおぞら豊岡市議員団)

地域の望む コミュニティセンターに

障害者雇用の現状

問 平成30年4月から従業員45・5人以上の民間企業では、法定雇用率として2・2%以上の割合で障害者を雇用する義務があるが、市は関係機関との連絡体制などはないのか

答 県全体での障害者雇用は把握されているが、本市がどれくらいかということは教えてもらえない。

問 障害者雇用は促進していく必要がある。30年度は重点的に取り組むたい。

問 ハローワークとNPO法人などが協力して、障害者の就職先を探している

聞いた。行政としてそういう援助もしていただきたいがどうか

答 市の障害者自立支援協議会の中に仕事部会を設けており、ハローワークの職員、就労支援のA型、B型の事業所の方々と一緒になって障害者雇用の促進を進めている。

問 委員会でのコミュニケーションセンターの代表者と懇談した。交付金で全てをやっていくのは、大変であると言われていた。人件費と運営費については将来も出し続けてはどうか

答 一括交付金と呼ばれるコミュニケーションづくり交付金は、従来の公民館活動費の1・3倍を均等割と人口割に応じて配分し、補助員人件費も増額している。おおむね3年間の各組織の決算状況をみて検証し、見直す必要がある。改めていきたい。

問 将来、指定管理にないことへの不安の声がある。36年度からの指定管理制度は、やめていただきたいがどうか

答 基本的には指定管理の方向だが、メリットだけでなくデメリットもあるので、研究し検討していきたい。



コミュニティへのさらなる支援で活性化の促進を

市政を問う



上田 倫久 議員
(新風とよおか)

奈佐川および豊岡斎場 周辺の豪雨災害状況等

問 7月豪雨災害の状況と今後の対策は

答 7月の豪雨内水の問題で、国道178号の卸売市場前は、平成21年から22年に道路のかさ上げ事業が実施された。その後の台風による通行止めもなく、クリアしてきたところであるが、今回の7月豪雨においては、冠水により一時通行止めになった。さらに、冠水の軽減に向けた取り組みがでないか、県に要望をしたいと考えている。

高屋の豊岡斎場に行く道路は、市道正法寺岩井線という。バスの回転場付近において、山からの流水について、地元からも要望を受けている。集水樹の設置や水路の整備などを行ってきたが、7月豪雨においても、山からの流水が、道路側溝、市道へ溢水、民家側にも流水したということを確認している。



奈佐川氾濫危険水域の土のう積み(栃江橋下流)

**（仮称）国際観光芸術
専門職大学について**

問 観光とアートの関係性は

答 豊岡の専門職大学は、演劇によるコミュニケーション能力を身につけると

認しており、どのようなことができるか検討することができるか検討する。観光に関心のある人でもエンターテインメント的な要素が、観光に生かせるのだと、理解してやってくる。魅力を高めるという意味でも、観光とアートの親和性は、重要なポイントになる。

議会を傍聴してひと言

議会がチェック機能を働かせていることに一安心しました。

議員さんは質問するために広い視野を持って日々過ごさなければならぬので大変ご苦労だと思います。同様の質問を多くの議員の方がされていますが、もっとまとめて質問するなどした方が時間的・日程も合理的ではないかと思えます。

熱心なる質疑応答、初めて議会を傍聴して関心が高まった。

明確な回答が出るものと出ないものがあるが関心は高まった。

豊岡へ来て50年近くなりますが議会の敷居が高いと勝手に考えていました。もっともっと気楽にお伺いしたいと思いました。

政策や問題点について市民の声をもっと単刀直入に質問、答えてもらいたい。

日曜、夜間に議会をして傍聴できる機会を増やしてほしい。

防災対策の参考になりました。

具体的内容でのやり取りが必要か。もう少し激しく意見交換してほしい。質問時間をこなすだけでなく、もっと市民の声を集め自分で調査し、市に対してぶつけていただきたい。

地域の事例をまじえて、市民の声として質問してほしい。

市議会のようにすぐよくわかった。おもしろかった。



他にもたくさんのご意見をいただきありがとうございました。皆さまからの貴重な意見を参考にさせていただきながら、今後の議会運営等に生かしてまいります。

意見書・請願・陳情

意見書

日本政府に核兵器禁止条約の署名と批准を求める意見書

審議結果 不採択

意見書の旨
2017年7月7日、国連会議において核兵器の全面禁止と根絶を目的とした「核兵器禁止条約」が、122の国地域の賛成で採択された。この条約は、核兵器の開発・実験・製造・備蓄・移譲・使用、及び威嚇としての使用などのすべての活動を禁止するものであり、まさに、完全に核のない世界をめざすものとして採択された。

しかしながら、世界で唯一の被爆国である日本は、署名も批准もしていない。よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く求める。

- ① 政府は核兵器禁止条約に署名すること。
- ② 衆議院・参議院両院において、核兵器禁止条約を批准すること。

地球温暖化対策に本気で取り組むことを求める意見書

審議結果 全会一致で可決

意見書の旨
2018年夏、気温など気象状況は、異常ともいえる高温が続き、各地で観測史上最高の気温が記録され、熱中症による死亡者も各地で発生する事態となった。

地球温暖化対策として、温室効果ガスの削減目標をすべての国が実現すること、さらに、温室効果ガスの発生を抑えることが求められる中で、再生可能エネルギーへの転換を図るべきと考える。

- よって、国においては、持続可能な社会の構築に向けて次の取り組みを行うことを強く求める。
- ① 京都議定書を結んだ国として、地球温暖化対策で、

世界のリーダーとして主導的な役割を果たすこと。

② 温室効果ガスの削減目標が実効性あるものとなるよう、すべての企業・自治体に目標実現を求めること。

③ 地方自治体における省エネ、再エネ、環境学習、環境にやさしいライフスタイルへの転換などの取組みやイノベーションの創出、気候変動に対する適応のための施策に対して財政面を含め強力に支援すること。

陳情

陳情第2号 出石文化会館ひほこホール使用に関する陳情書

審議結果 不採択

提出者 女声合唱団力モミール 代表 小西 洋子

報告の要旨
7月末をもって閉鎖された出石文化会館ひほこホールの使用に關し、再開を求めるものであり、委員より「出石文化会館ひほこホールは、すでに閉鎖の決定が下され、今後は、出石市民ホールの拡張、練習場の確保等について最善の努力を願う」との不採択意見や「6月議会で当委員会の審査結果は採択であったが、本会議において継続審査となった本陳情は採択すべき」との採択意見がなされた。

委員会において採決を行い賛成少数で不採択とされた。

本会議での採決

委員長報告に対し、会派「新風とよおか」「とよおか市民クラブ」議員から賛成討論が、会派「日本共産党・あおぞら豊岡市会議員団」議員より反対討論が行われた。起立採決の結果、賛成多数により委員長報告のとおり不採決となった。

12月定例会のお知らせ

(11/30～12/26開催予定)

11月30日金 9時30分開会

11月26日(月) 議会運営委員会	12月13日(木) 一般質問・予算決算委員会審査①
27日(火)	14日(金)
28日(水)	15日(土)
29日(木)	16日(日)
30日(金) 定例会(開会日)	17日(月) 委員会審査(常任委員会)/分科会審査②
12月 1日(土)	18日(火)
2日(日)	19日(水)
3日(月)	20日(木)
4日(火) 質疑・質問通告メット	21日(金) 予算決算委員会審査/委員会審査(特別委員会)③
5日(水)	22日(土)
6日(木)	23日(日) (天皇誕生日)
7日(金)	24日(月) (振替休日)
8日(土)	25日(火)
9日(日)	26日(水) 定例会(閉会日)
10日(月) 一般質問	27日(木)
11日(火) 一般質問	28日(金)
12日(水) 一般質問	

① 定例会(一般質問)終了後に開催します。
② 総務、文教民生、建設経済の3常任委員会を開催します。
③ 議会広報広聴、人口減少対策等調査、防災対策調査の3特別委員会は、予算決算委員会終了後または午後1時から開催します。詳しくは、お問い合わせください。
※ 定例会は市の議場で開催します。ぜひ傍聴にお越しください。
※ 一時保育(無料)もありますので、希望者は、1週間前までに申し込みください。

■ 申込み・問合せ / 豊岡市議会事務局 ☎ 0796-23-1119

その後どうなった?!



6月定例会の委員会審査における委員会意見と当局回答

新文化会館整備事業費

新たな文化会館の整備は、建設費用や維持運営等にかかる財政負担の軽減を図り、かつ市民に広く愛され活用される施設とするため、市民各層・文化団体等の意見も聴取したうえで、立地、規模、機能等を十分検討された。**(予算決算委員会)**

今後の人口減少や需要の見直し、および財政見直し等を考慮。また、市民や利用団体アンケートも参考にしながら、専門家や市内文化関係者などからなる基本構想・基本計画策定委員会の中で、立地や機能、規模等を慎重に検討していきたい。**(文化振興課)**

豊岡市役所キャリアデザインアクションプラン

重要な施策の一つであり、成果を大いに期待している。プラン策定に当たっては、単に業務を委託するのみではなく庁内検討委員会による実態把握や検討を踏まえ、女性職員の能力がさらに生かされる組織の実現を目指すよう取り組まれた。**(予算決算委員会)**

プラン策定は、庁内検討委員会を設置し、委託業者からの情報提供や助言を得ながら協議検討を行っている。8月に一般事務職員を対象とした意識調査と聞き取り調査を行い、市役所内の現状を把握したうえで、よりよいプランの策定に向けて検討を進めていきたい。**(職員課)**

株式会社シルク温泉やまびこ

前期に引き続き、今期も赤字となった。燃料費や水道光熱費の占める割合が非常に大きいため、将来を見据え省エネに努められたい。**(建設経済委員会)**

役員会等で対応策を検討し、可能なものから実施する。

<実施例>

- ・7月分から灯油入札業者を但東町内の2社から豊岡市内も含めた4社へ拡大⇒7月分で、1ℓ当たり約4円の効果
- ・ボイラー点火時間等こまめに調整
- ・デマンドによる電気管理

<実施予定>

- ・点灯時間が長い照明箇所(温泉、ラウンジ、ホール)のLED化(7/18、19交換済)。**(但東・地域振興課)**

視察報告



文教民生委員会(8月29日)

図書館本館リニューアル後の現状等について

(豊岡市立図書館・京町)

リニューアル工事が完了し、7月14日にオープンした。

1階の視聴覚ブース約80㎡を愛称「いこいの間」に改装し、公立図書館としては珍しい談話スペースには樹齢約300年の



木の株をくりぬいて座れるようにした椅子も置かれ、視覚障害者用に活字を音声に変換する「オトングラス」も設置された。今後、障害者福祉事業所による飲み物も提供できる予定と聞いた。

また、玄関左の庭園を「いこいの庭」に改修し、屋根付きの約50㎡のテラスと芝生広場約200㎡にベンチを配置し、レジャーシートを貸出し、屋外でも読書のできるスペースが整備され、子どもから高齢者、障害者の方を含め市民の居場所として整備された。

テラスを活用したステージイベントなどの提案も寄せられており、飲食などのルール化も含め、今までの殻を破った、開かれた図書館運営を期待する。

議会運営委員会(8月9日～10日)

議会改革の取り組み (ICT化を中心に)について

(兵庫県芦屋市・愛知県安城市)

芦屋市議会では、①議会内情報の集積・活用②ペーパーレス化の促進③事務の合理化・効率化の推進④市民への情報発信の拡充⑤経費節減を目的に、タブレット端末と文書共有システムの導入が行われていた。

議会主導の下、執行機関の職員も検討会議に参加し、議会と執行機関が一緒にシステムを利用する体制を構築。紙の節減のほか、議会報告会や市民相談の際にタブレットで必要な情報がすぐに引き出せるなどのメリットを認識した。

安城市は、執行部側が前向きではなく、議会単独でICT化へシフト。ICTが苦手な議員への配慮、ペーパーレス以外のメリットの検討、紙資料の電子化対象の限定等に留意していた。タブレット導入1年後の議員アンケートの評価は概ね好評で、円滑な運用状況が伺えた。





■城崎秋まつり 王橋セリ

勇壮
豪快



▲▲ 出石秋まつり 喧嘩だんじり



◀ 全国市町村交流レガッタ大津大会

豊岡市から最多の7チームが参加！
市議会議員団チーム シニアの部で見事3位！



▼11月の臨時議会で委員会構成が変わりました。私たちの委員会で編集する最後の広報紙。今期から委員会の役割に広聴が加わり、初めて読者アンケートを実施しました。読みやすさと、親しみのある紙面を目指してきましたが、その評価は…。

議会は言論の場、そこで展開される議員の意見や会派の方針を正確に記載することも広報紙の使命。限られた文字数を前に、貴重な発言を割愛する申し訳なさと、論点が伝わらないのでは、という不安の日々がずっと続きます。
(まつい ただし)

▼1年間、新人の私は、なかなか要領を得ませんでした。市民の皆さまに読みやすい、分かりやすい議会だよりをお届けするため、毎号、委員会で見えを交わしながら編集してきました。また、初めてアンケート調査を実施しました。たくさんのご意見を編集に生かしながら、よりよいものにしていきたいと思います。

来年は、政治というひかりが隅々まで届くように、災害のない穏やかな年になるように、願っています。
(あしだ ひとし)

編集後記